

## デンバー原則

People with AIDS 諮問委員会による声明

「敗北」を意味する「犠牲者 victims」というレッテルを私たちに張ろうとする試みを私たちは非難します。また、「患者」という言葉も、受動性や無力感、他者にケアを依存する存在を暗示するものです。たまたまいまは患者と呼ばれているものの、私たちは People with AIDS（エイズとともに生きる人）なのです。

### 保健医療専門家への勧告

1. エイズとともに生きる患者を受け入れる。
2. エイズの原因に関するバイアスが、保健医療従事者による治療やアドバイスに影響を与えている。保健医療従事者は常に自らが支持する理論を明示し、議論を行わなければならない。
3. エイズに関する知識だけでなく、恐怖や不安、希望といった心理的な側面にも理解を深める。
4. エイズに関して自らが抱える課題を把握し、自分自身の考え方を徹底的に検証する。
5. People with AIDS を人として扱い、生物物理学的な問題だけでなく心理社会的な問題にも対応する。
6. People with AIDS が直面するセクシュアリティの課題に具体的かつきめ細かく対応する。そのために、ゲイ男性のセクシュアリティ全般、特にエイズ患者のセクシュアリティに関する情報を得る。

### すべての人に向けた勧告

1. 私たちを解雇し、家から追い出し、私たちに触れることを拒否し、愛する人、地域社会、同僚から引き離すような人たちと、私たちは闘っている。その闘いを支援してほしい。これまでに明らかにされているエビデンスでも、エイズがカジュアルな社会的接触で広がる可能性があるという見解は支持されていない。
2. People with AIDS をスケープゴートにし、エイズ流行の原因を私たちのせいにならないでほしい。私たちのライフスタイルに対し、一般論で決めつけないでほしい。

### People with AIDS に向けた勧告

1. 自分たちの代表を選び、メディアに対応し、自分たちの課題を設定し、戦略計画を策定するために集会を開く。
2. あらゆるレベルの意思決定に関与する。とりわけ、政策決定やサービス提供機関の理事会メンバーに加わる。
3. 他の参加者と同等の資格ですべてのエイズ関連フォーラム（会議）に参加し、自らの経験や知識を共有できるようにする。
4. 自分自身やパートナーを危険にさらす可能性のある性行動を、リスクの低い性行動に置き換える。

People with AIDS には潜在的な性的パートナーに健康状態を知らせる倫理的な責任があると私たちは考えている。

## **PEOPLE WITH AIDS の権利**

1. 性的にも情緒的にも他の人と同じように充実した満足のいく生活を送る。
2. 性的指向、ジェンダー、診断名、経済的地位、人種を含め、いかなるかたちの差別も受けることなく、質の高い医療と社会サービスの提供を受ける。
3. すべての医療行為とリスクについて十分に説明を受け、治療法の選択と拒否ができる。研究への参加を断っても治療上の不利益を受けない。自らの生命にかかわる決定は十分な情報を得たうえで行う。
4. プライバシー、医療記録の機密がまもられ、人間として尊重される、そして大切な人が誰であるかを選択できる。
5. 尊厳をもって生き、そして死ぬことができる。

日本語仮訳：公益財団法人エイズ予防財団